読

替

後

第四十条 年数)から一を減じて得た数を乗じ、 額に残存年数(一年未満の端数がある場合には、これを切り上げた 同号に規定する期限付劣後債務については、 五号に規定する期限付劣後債務の額(残存期間が五年以内になった 第五条第一項第四号に規定する負債性資本調達手段の額及び同項第 組合等がその経営の健全性を判断するための基準 省告示第十三号) ための基準等の特例 た自己資本の額は、 一十八日金融庁・農林水産省告示第二号。 という。)第四条に規定する基本的項目の額、 (規則第二百一条第一 規則第二百一 第 農業協同組合等がその経営の健全性を判断する 一条の規定により読み替えて適用する農業協同 条第 (平成二十四年六月二十九日金融庁・農林水産 項の規定による自己資本の額の調整) 一項の農林水産大臣が必要な調整を加え その額を五で除して得た額 以下「自己資本比率告示 毎年、 自己資本比率告示 (平成十八年三月 貸借対照表計上

の合計額とする。

読

替

前

第四十条 号。 ては、 その額を五で除して得た額) 場合には、これを切り上げた年数) 残存期間が五年以内になった同号に規定する期限付劣後債務につい 資本調達手段の額及び同項第五号に規定する期限付劣後債務の額 項目の額、 ための基準(平成十八年三月二十八日金融庁・農林水産省告示第一 た自己資本の額は、農業協同組合等がその経営の健全性を判断する 規則第二百一条第一 以下「自己資本比率告示」という。)第四条に規定する基本的 毎年、 規則第二百一条第一項の農林水産大臣が必要な調整を加 自己資本比率告示第五条第一項第四号に規定する負債性 貸借対照表計上額に残存年数(一年未満の端数がある 項の規定による自己資本の額の調整 の合計額とする。 から一を減じて得た数を乗じ

的項目の額とする。	月二十八日金融庁・農林水産省告示第三号)第四条に規定する基本目系含含なるの系含の扱った。	同国合等がたり圣宮の建全生と判所けることの基準(平戈トし年三産省告示第十三号)第二条の規定により読み替えて適用する漁業協	るための基準等の特例(平成二十四年六月二十九日金融庁・農林水	えた自己資本の額は、農業協同組合等がその経営の健全性を判断す	第三十六条 規則第二百四条第一項の農林水産大臣が必要な調整を加	(規則第二百四条第一項の規定による自己資本の額の調整)	読替後
		三号)第四条に規定する基本的項目の額とする。	るための基準(平成十八年三月二十八日金融庁・農林水産省告示第	えた自己資本の額は、漁業協同組合等がその経営の健全性を判断す	第三十六条 規則第二百四条第一項の農林水産大臣が必要な調整を加	(規則第二百四条第一項の規定による自己資本の額の調整)	読替前